解説資料／貴　惣　門

東洋大学校友会埼玉県東部支部
副支部長　黒井登起雄

棟門、唐棟門、三間棟門、五間棟門、上土門、四脚門、唐四脚門、八脚門、唐八脚門、薬医門、唐薬医門、平唐門、向唐門、冠木門、塀重門、向塀重門、高麗門、萱門、土門、埋門、一間山門（角山門）、三間山門、五間山門、一間楼門、三間楼門、平大門、大門、三間中門、五間中門、鐘楼門などが建築形式をイメージできる門に対して、貴惣門（=木草門、奇想門）は、宗教的意味や位置による名称で、妻側に破風（はふ）を 3 つ付けた特異な門で、ありえないような形である。しかし、歓喜院貴惣門（弘化 5 年～安政 2 年(1848～1855)、埼玉県熊谷市の妻沼にある）として実在している。その木割（「堂宮雛形」「屋敷雛形」など、建物の設計意匠を、部材寸法・部材間寸法の比例によって説明するのを主とした史料）は、**図-1** に示す。したがって、貴惣門は、類例の少ない形式の門で、江戸期、利根川大洪水の災害復旧工事にお手伝い普請で来村した岩国毛利家吉川藩の棟梁長谷川家に伝わる設計図がこの門と同種のものであり、聖天堂棟梁林正清と懇意になってプレゼントした図面を後年参考にして、林正清の子孫が完成させたと伝えられている。

図-1　木草門の木割

http://www.jia-tokai.org/sibu/architect/2008/05/kiwari.html
http://www.justmystage.com/home/mokeikan/tanbo-syaji.html

写真-1 貴惣門（妻沼聖天山聖天院）

写真-2 貴惣門（妻沼聖天山聖天院）

写真-3 貴惣門（妻沼聖天山聖天院）

熊谷市の貴惣門は、妻沼聖天山参道の 1 番目の門で、国指定重要文化財（平成 14 年 5 月 23 日指定）に指定されている。門は、総欅造りで、1851 年（寛永 4 年）完成した高さ 16m、重層の三つの破風を組み合わせた豪壮な八脚門（切妻造、本瓦形銅板葺）である（**写真-1**）。門には、精巧な彫刻が無骨に周囲を飾りたてるように施され、厳かな雰囲気を醸し出している（**写真-2、3**）。

また、貴惣門は、日本に 4 つしかない。妻沼聖天山聖天院のほかの貴惣門は、四天王寺東大門（大阪市）、

豊楽寺仁王門（岡山市建部町）、誓願寺山門（弘前市）の 3 つである。大阪市の四天王寺東大門は、元和 4 年創建で最も古い貴惣門であったが、戦災で焼失してしまった（**写真**-4）。その後の東大門の再建は、様式を変更して行われたために、各部の装飾が少なくなっている（**写真**-5、6）。四天王寺は、「熊野権現遥拝石」が南大門の前に残っており、この石の上から熊野に向かって旅の無事を祈ったり、熊野へ行けない人がここから熊野の神へ加護を祈ったところと言われている。2 つ目の岡山県豊楽寺仁王門は、武部町文化財（岡山市文化財？）で、江戸末期の作品のようです。正式には静謐山豊楽寺（せいひつざんぶらくじ）と称し、豊楽寺は、和銅 2 年（709 年）玄肪僧正によって開山され、のち鑑真和尚が大成した真言宗の名刹である。なお、仁王門は、修復成ったばかりである（**写真**-7、8、2008 年？）。豊楽寺の最寄駅は、津山線福渡駅である。最後の門は、誓願寺山門（弘前市大字新町）で、他とは異なり妻入りの四脚門である（**写真**-9）。山門は、国指定重要文化財（建造物）に指定（昭和 13 年 8 月 26 日）されている。寺伝によれば、誓願寺は、慶長元年（1596 年）に創立、弘前城築城に際し、現在地に移されたと云われている。その後、寺は数度の火災に遭っているが、幸い山門は災禍を免れている。山門の創建年代の特定資料はないが、形式から江戸時代中期と推定されている。山門（貴惣門）は、形式から平側より妻側の見栄えがする門の使い方となっている。山門は、全体に彩色され、上層の四周板壁には十二支の動物の絵が描かれている。また、この山門は、正面中央に高く切妻造の破風（はふ）を表し、下方左右に片流れの招破風（まねきはふ）を持つほか、懸魚を鶴と亀の形に作る極めて珍しい形式で、俗に鶴亀門（つるかめもん）とも呼ばれている。

写真-4 戦災で消失した旧国宝の東大門

写真-5 四天王寺東大門全景

写真-6 四天王寺東大門

http://pilgrimari.exblog.jp/7824599/

写真-7 備前焼の桟瓦葺き、装飾も簡素で小規模な豊楽寺仁王門（修復の前？）

写真-8 静謐山豊楽寺（岡山市建部町豊楽寺）

http://www.okayamamokei.com/prototyp/temple/bura mon.htm

写真-9 誓願寺山門（弘前市）

http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gaiyo/bunkazai/kuni/kuni12.html

以上